

# 佐藤 栄作

法経学部 法学科 1988 年卒

## ① 自身の仕事

大学教員・研究者

## ② 自身の仕事の紹介

私は 2004 年から千葉大学に奉職し、現在は教授として教育・研究に携わるとともに、2021 年 4 月から 2023 年 3 月までの 2 年間の任期で法政経学部長を務めています。千葉大学に着任する前は、民間企業や研究機関の在籍経験もありますものの、ここでは現職の大学教授の立場から、私の仕事の紹介をしたいと思います。大学教授の仕事は、主に教育、研究、そして学部運営等に関わる業務を行うことです。学生の皆さんは教育についてはイメージしやすいと思いますので、ここでは研究についてのみ簡単に紹介します。

教授に限らず准教授、講師、助教を含めた大学教員は研究者であり、それぞれの専門分野で新たな知識獲得を目指した研究活動を行っています。私の場合は、マーケティング・サイエンスを専攻しており、統計的手法を用いて消費者の行動に関する統計モデル構築とその実証研究を主に行っています。こうした統計モデルは消費者行動を測定したデータに適用し分析するために利用することができます。こうした研究活動の成果を学会や論文で発表することで、主に同じ分野の研究者の先生方や実務家の方々からご批判をいただきながら課題を発見し、さらに研究を進めるという活動を継続的に行っています。我々研究者が取り組む 1 つ 1 つの研究は、それまで未知の領域に何らかの答えを示そうというものですから、時間もかかりますし、いつも望んでいたような答えに辿り着くとも限りません。しかしながら失敗を繰り返しながらも根気強く取り組んでいると新たな発見をすることもあり、たとえ小さな発見でもそういったことができた時には充実した感覚を味わうことができます。研究という仕事は、地道な活動の積み重ねから成果を得ていくという点では、他の多くの仕事と同じです。物事にコツコツと地道に取り組むことができる人は向いていると思います。社会科学分野の研究者というのも魅力的な仕事の 1 つだと思いますので、興味のある人はチャレンジしてみてください。

## ③ 自身の業界へ興味がある在学生の皆さんへのアドバイス

私自身はコース選択を経験していませんが、研究者（大学教員や研究機関の研究者など）になるためのキャリアプランとしてのコース選択について述べます。とはいっても実ほどのコースであっても、研究者を目指すことは可能です。では研究者として職を得るためには何が必要かということ、今の時代はやはり学位（博士号、Ph.D.）であろうと思います。博士号は十分条件ではありませんが、少なくとも研究者を採用する際に博士号が重視されることは事実です。それゆえ研究者を目指そうと思った皆さんは、どのコースに進むにしてもその分野の博士号取得を念頭においてキャリアを考えてください。コース選択は、最も自分が興味をもって研究してみたいと思う分野を選べばよいと思います。その上で、選択したコースの中で演習科目やゼミナールを履修して専門性を高め、大学院を目

指すというルートが1つの選択肢です。

もっとも経済的理由から大学院進学は難しいという人もあきらめることはありません。社会科学研究分野の大学院には、社会人を受け入れている大学院も多数あります。千葉大学大学院人文公共学府もその1つです。就職して経済的安定を確保した後に、社会人を受け入れている大学院に入り博士号取得を目指すというルートもあります。

学部生の皆さんのほとんどが取り組む就職活動では、こうしたキャリアパスが想定されることは無いと思いますので、研究者という進路を真剣に考えていた人もほとんどいないと思います。けれどももし今、研究者を目指したいと思いはじめたという人には、それが実現可能性のあることだということを強調しておきたいと思います。

(2022年4月)